SONY

4-416-825-**02**(1)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICD-BX122

 Printed in China

4416825O2(1)

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

 下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない
感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド(Ni-Cd)、ニッケル水素(Ni-MH)、リチウムイオン(Li-ion)

乾電池
アルカリ、マンガン

⚠危険 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（下記）またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	フリーダイヤル……0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話……0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
修理相談窓口	フリーダイヤル……0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話……0466-31-2531	

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389　ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告 乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 長時間使用しないときや、使い切った電池は取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意 乾電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償については、ご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、テープレコーダー、ミニディスク、コンピューターや他のICレコーダーなどに保存してください。

お問い合わせ窓口のご案内
本機について不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。
- 本機の商品カテゴリーは［ICレコーダー］です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - 型名：ICD-BX122
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - シリアルナンバー：電池ボックス内に記載
  - お買い上げ年月日

準備

準備1：箱の中身を確認する

本体（1）
表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

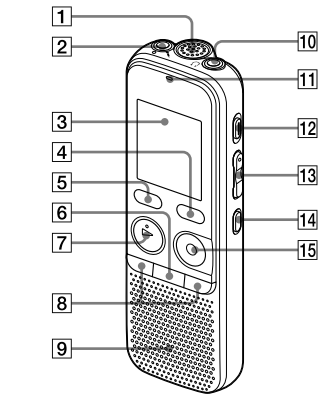
ソニー単4形アルカリ乾電池（2）

取扱説明書（本書）（1）

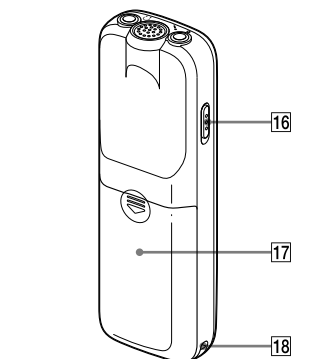
保証書（1）

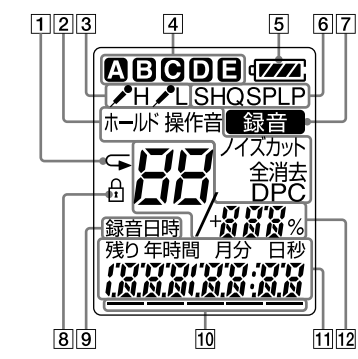
この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

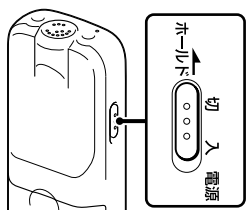
本体（表面）

1 内蔵マイク
2 (マイク)ジャック*
3 表示窓
4 フォルダ／メニューボタン
5 分割ボタン
6 ■（停止）ボタン
7 ► 再生／決定ボタン*
8 −◄◄（早戻し／レビュー）、►►＋（早送り／キュー）ボタン
9 スピーカー
10 Ω（ヘッドホン）ジャック
11 録／再ランプ
12 消去ボタン
13 音量－／＋*ボタン
14 表示ボタン
15 ● 録音／一時停止ボタン

* 凸点（突起）がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

本体（裏面）

16 ホールド・電源スイッチ
17 電池ぶた
18 ストラップ取り付け部（ストラップは付属していません。）

表示窓

1 リピート再生表示
リピート再生中に表示されます。
2 ホールド、メニュー表示
ホールド中に表示されます。また、選んだメニュー項目と設定が表示されます。
3 マイク感度表示
メニューで設定されている録音時のマイク感度が表示されます。
4 フォルダ表示
現在選択されているフォルダ（A、B、C、D、またはE）が表示されます。
5 電池マーク
電池残量が表示されます。
6 録音モード表示
停止中はメニューで設定されている録音モードが、再生中はそのファイルの録音モードが表示されます。
7 録音表示
録音中に表示されます。
8 保護マーク
ファイルが保護設定されているときに表示されます。
9 録音日時表示
10 メモリー残量表示
11 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻、現在時刻表示など
12 位置表示（現在のファイル、総ファイル）、DPC設定値、VOR表示

誤操作を防止する（ホールド）

ボタン操作をできないようにするには

録音または再生中に、ホールド・電源スイッチを矢印の方向にずらします。
「HOLD」、「ホールド」が点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。

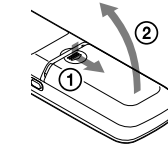
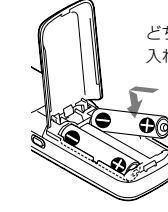
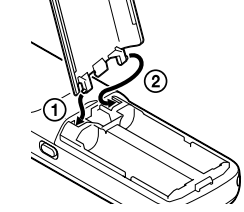
ボタン操作をできるようにするには

ホールド・電源スイッチを矢印と反対の方向にずらします。ボタン操作ができるようになります。

ご注意
- 録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作ができなくなり、誤操作を防止します。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。
- 停止中にホールドにすると、電源が「切」になります。

準備2：電池を入れる

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

2 単4形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める。

電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは下の図のようにはめ直してください。

ヒント
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音したファイルは消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約1分間、時計は動いています。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。この場合の電池寿命は、温度などの環境によっても異なりますが、約2か月が目安です。長い期間ご使用にならない場合は、電池をはずしておくことをおすすめします。

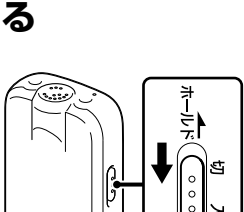
ご注意
- マンガン電池はお使いになれません。
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください

電池を交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

電池の残量表示

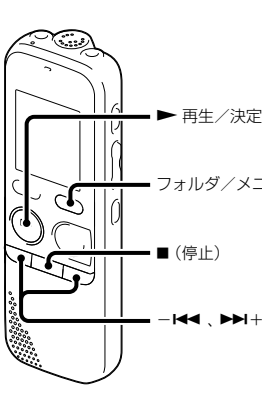
電池の交換時期が近づいています。
↓
「LO BATT」が点滅し、操作が停止します。

準備3：電源を入／切する

ホールド・電源スイッチを「入」の方向にずらすと、電源が入ります。

電源を切るには

お使いにならないときは、電源を切ることで電池の消耗を低減することができます。
停止中にホールド・電源スイッチを「切」の方向にずらすと、「OFF」が点滅し、しばらくたってから電源が切れます。

ヒント
- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 電源を入れて停止状態のまま約10分間経過すると自動的に表示が消えます。（ボタンを押せば、操作できます。）

準備4：時計を合わせる

電池を入れてすぐに時計を合わせる

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまましばらくお使いにならなかったあとに電池を入れたときは、年表示が点滅します。

1 年を合わせる。
−◄◄ または ►►＋ボタンを押して、年の数字（西暦の下2桁の数字）を選びます。
► 再生／決定ボタンを押すと、カーソルが月表示に移動します。

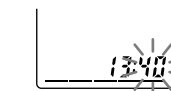
2 同じ手順で、月、日、時、分の順に設定する。
−◄◄ または ►►＋ボタンを押して、数字を選び、► 再生／決定ボタンを押して決定します。
時計設定中に、■（停止）ボタンを押すと、キャンセルされます。その場合は、メニューを使って時計を合わせてください。

メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

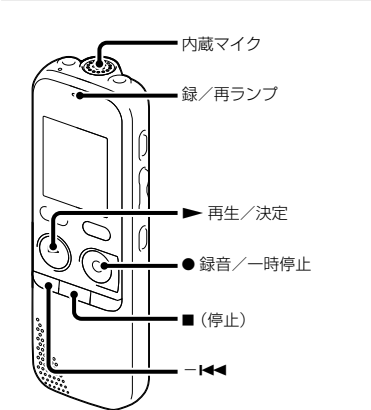
1 フォルダ／メニューボタンを長押ししてメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 −◄◄ または ►►＋ボタンを押して、「SET DATE」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

3 −◄◄ または ►►＋ボタンを押して、年、月、日、時、または分の数字を選び、► 再生／決定ボタンを押して順に設定する。

4 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ヒント
メニュー操作中、ひとつ前の操作に戻るには、フォルダ／メニューボタンを押します。

ご注意
時計設定モードに入ってから、設定を完了しないまま1分以上操作を行わない場合、時計設定モードがキャンセルされ、停止画面に戻ります。

録音する

ご注意
録音を始める前に、ホールドを解除して電源を入れてください。

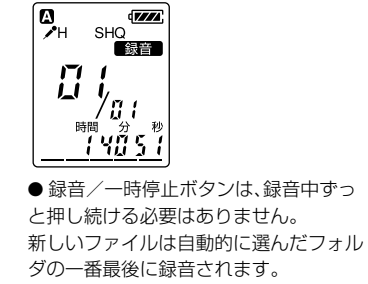
フォルダを選ぶ

1 フォルダ／メニューボタンを押して、録音するファイルを保存したいフォルダを選ぶ（A、B、C、D、またはE）。
録音した後にフォルダを変更した場合、次にファイルを録音したときから、新しく選んだフォルダに保存されます。

録音を始める

ヒント
音声はモノラルで録音されます。別売のステレオマイクを接続し、SHQモードまたはHQモードに設定して録音すると、ステレオで録音できます。

1 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

2 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。
録／再ランプがオレンジに点滅後、赤で点灯します。

● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。
新しいファイルは自動的に選んだフォルダの一番最後に録音されます。

録音を止める

1 ■（停止）ボタンを押す。
今録音したファイルのはじめで停止します。

その他の操作

録音を一時停止する*
● 録音／一時停止ボタンを押す。
録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、「PAUSE」が点滅します。
* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

録音一時停止を解除する
もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音停止後、録音を続けず、停止するときは、■（停止）ボタンを押します。）

今録音したばかりのファイルを聞く
► 再生／決定ボタンを押す。
録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。

早戻し再生する
録音中または録音一時停止中に−◄◄（早戻し）ボタンを長押しする。
録音が解除され、今録音したところが早戻し再生されます。−◄◄ ボタンを離すと、離したところから再生が始まります。

ヒント
- 本機で録音されるファイルはMP3ファイルで録音されます。
- 各フォルダには、最高99のファイルが録音できます。
- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。
- 録音される音声が大きすぎる、または歪むときは、メニューの「MIC」（マイク感度）を「L」に設定してください。録音される音声が小さすぎるときは、メニューの「MIC」（マイク感度）を「H」に設定してください。

ご注意
- 画面上に「ACCESS」が点滅中、または録／再ランプがオレンジに点滅している間は、電池をはずさないでください。データが破損するおそれがあります。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示を確認してください。
- 録音中に、本機に手などが当たったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。録音が終了するまでは、本機に触れないよう、ご注意ください。
- 録音中や再生中に、本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。

メモリー残量表示について

残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。

点滅

録音中に残り時間が10分を切るとメモリー残量表示が点滅し、残り時間が1分を切ると「残り時間」表示モードに切り替わり、残量表示とカウンター表示が点滅します。
残量がなくなると、録音が自動的に停止し、「FULL」と録音 が点滅します。録音するには、不要なファイルを消去してください。

録音中の音を聞く

ヘッドホンを Ω（ヘッドホン）ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。
ヘッドホンからの音量（モニター音量）は、音量－／＋ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

ご注意
録音中に音をモニターしている場合はノイズカットの設定は無効になります。

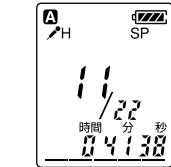
再生する

ご注意
再生を始める前に、ホールドを解除して電源を入れてください。

再生を始める

1 フォルダ／メニューボタンを押して、再生するファイルが保存されたフォルダを選ぶ（A、B、C、D、またはE）。

2 −◄◄ または ►►＋ボタンを押して再生するファイルを選ぶ。

3 ► 再生／決定ボタンを押す。
すぐに再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。

4 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

1 ■（停止）ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する
► 再生／決定ボタンを押す。
もう一度 ► 再生／決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの頭に戻る
−◄◄ ボタンを短く1回押す。

前のファイル、さらに前のファイルに戻る
−◄◄ ボタンを短く何回か押す。
（停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）

次のファイルに進む
►►＋ボタンを短く1回押す。

さらに次のファイルに進む
►►＋ボタンを短く何回か押す。
（停止中は押したままにすると、連続して進みます。）

1件を繰り返し聞くには（リピート再生）

再生中に ► 再生／決定ボタンを長押しします。
「」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。
通常再生に戻るには、► 再生／決定ボタンを押します。

表示を切り換える

再生、停止、録音中に表示ボタンを押して、カウンタ表示を切り換えることができます。

消去する

ご注意
- 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 消去を始める前に、ホールドを解除して電源を入れてください。
- 保護設定されたファイルは消去できません。メニューで「LOCK」を「OFF」に設定してから、消去してください。

1 停止中または再生中に、消去したいファイルを選ぶ。

2 停止中は消去ボタンを長押し、再生中は消去ボタンを押す。
確認音が鳴り、ファイル番号と「ERASE」、「消去」が点滅します。

3 「ERASE」、「消去」の点滅中に消去ボタンをもう1度押す。
ファイルが消去され、以降のファイル番号が繰り上がります。

途中で消去をやめるには
手順3の前に■（停止）ボタンを押します。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには
ファイル分割で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイルを選んで上記の手順を実行します。

メニューについて

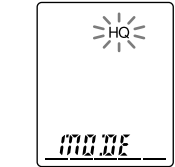
メニューの使いかた

► 再生／決定
フォルダ／メニュー
■（停止）
−⏮、⏭+

1 フォルダ／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、設定したい項目を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

3 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、設定を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

4 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意
約1分間なにもしないと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中にフォルダ／メニューボタンを押します。

メニューモードを中止するには

■（停止）ボタンを押します。.

メニュー項目

(*: 初期設定)

MODE（録音モード）

停止中に、音質などの用途に応じた録音モードを選べます。音質を重視しない簡易な録音、メモ録音はLPモードで長時間お使いになれます。より良い音質で録音したいときは、SHQモードまたはHQモードをお使いください。
SHQ*：モノラル超高音質モード
（44.1 kHz/192 kbps）
HQ：モノラル高音質モード
（44.1 kHz/128 kbps）
SP：モノラル標準モード
（44.1 kHz/48 kbps）
LP：モノラル長時間モード
（11.025 kHz/8 kbps）

ご注意
録音中は録音モードの切り換えはできません。

MIC（マイク感度）

停止、録音、録音一時停止中に、用途に合わせて、マイクの感度を選べます。
H*： 小さな音を大きくするとともに、全体の録音レベルを最適化することでバランスのとれた録音を実現します。広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
L： 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

VOR

停止、録音、録音一時停止中に、VOR（Voice Operated Recording）機能を設定できます。
ON：ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。● 録音／一時停止ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。
OFF*：VOR機能は働きません。

DPC

停止／再生中に、DPC（デジタルピッチコントロール）機能を設定できます。
ON： ＋100%から－50%の間で再生速度を調節できます。
OFF*： DPC機能は働きません。

N-CUT（ノイズカット）

停止／再生中に、ノイズカット機能を設定できます。
ON：録音した音声を聞きやすくするために、音声帯域には影響の出ない低域と高域の雑音を低減して音声をより聞きやすくします。
OFF*：ノイズカット機能は働きません。

ご注意
- 録音モニター中、内蔵スピーカーで再生中は、ノイズカット機能は働きません。
- ノイズカット機能の効果は、録音音声の状態によって異なります。

SET DATE（時計設定）

停止中に、「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせることができます。

BEEP（操作音）

停止中に、操作時の確認音およびエラー音を設定できます。
ON*：操作時の受け付け確認音およびエラー音が鳴ります。
OFF：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

LOCK（保護）

停止中に、ファイルを保護して、消去、分割や移動ができないようにします。
ON： ファイルを保護します。
OFF*： 保護設定を解除します。

MOVE（移動）

停止中に、ファイルを選んだ他のフォルダに移動できます。メニューに入る前に、移動するファイルを表示してください。

ご注意
メニューで「LOCK」が「ON」になっているファイルは移動できません。

ALL ERASE（全消去）

停止中に、フォルダのすべてのファイルを一度に消去できます。フォルダを選び、メニューモードに入り、「ALL ERASE」が点滅中に ► 再生／決定ボタンを押すと、フォルダ内のすべてのファイルが消去されます。

ご注意
メニューで「LOCK」が「ON」になっているファイルは消去できません。

その他の録音操作

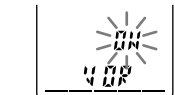
音がしたとき自動録音する — VOR（Voice Operated Recording）録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように設定することができます。

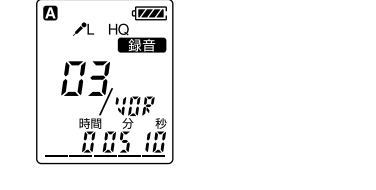
1 フォルダ／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、「VOR」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

3 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、「ON」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

4 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

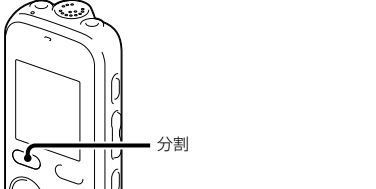
5 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録音 と「VOR」が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、「VOR」と「PAUSE」が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順3で「VOR」を「OFF」にします。

ご注意
- ノイズなど不要な音でも録音が開始される場合があります。
- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「OFF」に設定してください。

録音の途中でファイルを分割する

続けて録音しながら新しいファイルとして録音することができます。
一度分割すると再結合できません。

1 録音中に分割ボタンを押す。

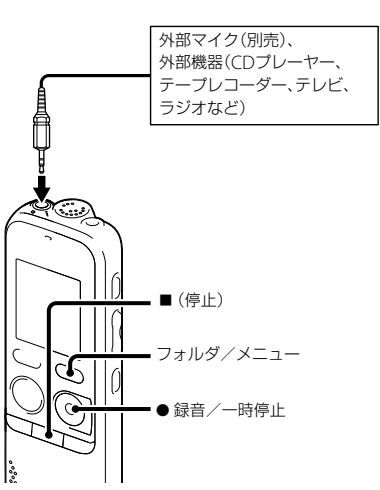
「DIVIDE」と新しいファイル番号が点滅します。
押したところから新しいファイル番号がつき、2つのファイルとして、続けて録音されます。

ファイル1	ファイル2	ファイル3

▲ ファイル分割
ファイル2とファイル3は続けて録音される

ヒント
録音一時停止中でもファイル分割できます。

ご注意
- ファイルを分割した場合、前のファイルの最後の音と、あとのファイルの最初の音が重なる場合があり、両方の部分で同じ音が聞こえる場合があります。
- 録音可能残量時間が3秒未満になるとファイル分割はできません。

外部マイクや外部機器を接続して録音する

1 停止中に外部マイクまたは外部機器を本機の（マイク）ジャックにつなぐ。
- 別売のステレオマイクを接続し、SHQモードまたはHQモードに設定して録音するとステレオで録音できます。
- 他の機器（CDプレーヤー、テープレコーダーやテレビ、ラジオなど）の音声を録音するには、他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を、別売のオーディオコードを使ってつなぎます。

2 フォルダ／メニューボタンを押して、録音するファイルを保存したいフォルダを選ぶ（A, B, C, D, または E）。

3 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクまたはつないだ機器の音を録音します。
入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

4 録音を止めるには、本機の ■（停止）ボタンを押す。

ヒント
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売の電話録音用マイク、ECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。
接続方法などについて詳しくは、ECM-TL3の取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- 録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

その他の再生操作

より便利な再生方法

高音質で再生するには

- ヘッドホンで聞く：
別売のステレオヘッドホンを（ヘッドホン）ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
市販のアクティブスピーカーまたはパッシブスピーカーを（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

- 早送り（キュー）：再生中に⏭+ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：再生中に−⏮ ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は再生しながら低速で早送り／早戻しされます。押し続けると、中速、その後高速での早送り／早戻しになります。

最後のファイルの終わりまで再生または早送りすると
- 最後のファイルの終わりまで来ると、「END」表示が約5秒間点滅します。
点滅中は録／再ランプは緑に点灯しています（再生音は聞こえません）。
- 「END」の点滅と録／再ランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「END」の点滅中に−⏮ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、⏭+ボタンを押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「END」表示の点灯中に−⏮ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のファイル以外の場合は、次のファイルの頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

再生速度を調節する — DPC（デジタル・ピッチ・コントロール）

再生速度を＋100%から－50%の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

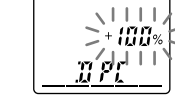
1 停止／再生中にフォルダ／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

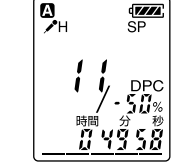
メニュー画面が表示されます。

2 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、「DPC」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

3 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、「ON」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

4 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、再生速度を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

−⏮ または ⏭+ボタンを押すごとに、−50% ～ 0%は5%刻み、0% ～ 100%は10%刻みで再生速度を設定できます。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

DPC再生中は、設定速度が表示されます。

通常の再生速度に戻すには

手順3で「DPC」を「OFF」にします。

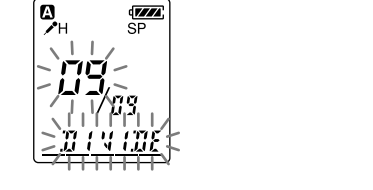
再生中にファイルを分割する

再生中にファイルを分割して、その場所に新しいファイル番号が付けられます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

1 再生中に分割ボタンを押す。

「DIVIDE」と現在のファイル番号が点滅します。

2 もう1度分割ボタンを押す。

新しいファイル番号がつき、以降のファイル番号はひとつずつ送られます。

ファイル1	ファイル2		ファイル3
	▲ ファイル分割		
ファイル1	ファイル2	ファイル3	ファイル4

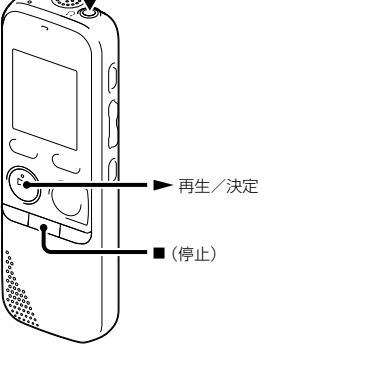
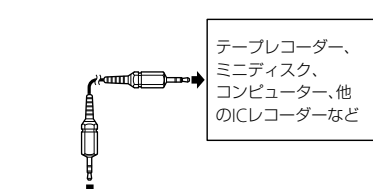
ファイル番号が1つずつ増える

ご注意
- 分割したファイルは再結合できません。（元に戻せません。）
- 10秒以上操作しない場合、分割設定が解除され停止します。
- リピート再生中に分割すると、リピート再生は解除されます。
- 保護設定されているファイルは分割できません。

ファイル分割した部分を探して聞くには

分割したファイルを1件としてファイル番号がついているので、ファイル番号を探すときと同様に−⏮ または ⏭+ボタンを押して再生する部分を探してください。

他の機器で録音する

テープレコーダー、ミニディスク、コンピューター、他のICレコーダーなど
► 再生／決定
■（停止）

他の機器で本機の音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 本機の（ヘッドホン）ジャックと他の機器の音声入力端子（ステレオミニジャック）を、別売のオーディオコードを使ってつなぎます。

2 本機の ► 再生／決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

本機のファイルが他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の ■（停止）ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

編集操作

フォルダ内の全ファイルを一度に消去する

ご注意
- 保護設定がされているファイルは消去されません。
- 一度消去した内容は元に戻せません。ご注意ください。

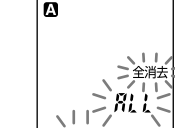
1 フォルダ／メニューボタンを押して、ファイルを一度に消去したいフォルダを選ぶ（A, B, C, D, または E）。

2 停止中にフォルダ／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

3 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、「ALL ERASE」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

「ALL ERASE」、「全消去」が点滅します。

4 「ALL ERASE」、「全消去」の点滅中に ► 再生／決定ボタンをもう1度押す。

フォルダ内の全ファイルが消去されます。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

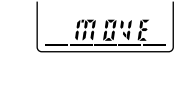
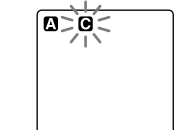
ファイルを別のフォルダへ移動する

ご注意
保護設定がされているファイルは移動できません。

1 移動したいファイルを表示する。

2 停止中にフォルダ／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

3 −⏮ または ⏭+ボタンを押して、「MOVE」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

4 −⏮ または ⏭+ボタンを押して移動先のフォルダ（A, B, C, D, または E）を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

ファイルは選択したフォルダの最後に移動します。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

その他

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  – 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  – 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  – 風呂場など湿気の多いところ。
  – ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  – 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
  身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  – 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  – 汗をかく状況での使用。
  濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

主な仕様

本機の仕様

容量（ユーザー使用可能領域）
2 GB（約1.79 GB = 1,924,136,960 Byte）
メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

最大ファイル数（1フォルダ内）
99ファイル

最大ファイル数（5フォルダ内）
495ファイル

周波数範囲
SHQ：75 Hz ～ 20,000 Hz
HQ： 75 Hz～17,000 Hz
SP： 75 Hz～15,000 Hz
LP： 80 Hz～3,500 Hz

対応ファイルフォーマット
コーデック：MP3
ビットレート：8 kbps ～ 192 kbps
サンプリング周波数：11.025/44.1 kHz

スピーカー
直径28 mm

入・出力端子
外部入力（ステレオミニジャック）
プラグインパワー対応
最小入力レベル：0.4 mV
ヘッドホン（ステレオミニジャック）
推奨負荷インピーダンス：16 Ω

再生スピード調節（DPC）
＋100%～－50%

実用最大出力
300 mW

電源
DC3 V、単4形アルカリ乾電池（付属）2本
DC2.4 V、単4形充電式ニッケル水素電池（別売）2本

動作温度
5℃～ 35℃

最大外形寸法
約37.5 mm×114.0 mm×20.9 mm
（幅／高さ／奥行き）（JEITA*1）

質量
約73 g（アルカリ乾電池2本含む）（JEITA*1）

*1 電子情報技術産業協会（JEITA）規格。

付属品
表面参照

別売アクセサリー
エレクトレットコンデンサーマイクロホン:
ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS30P、ECM-CS3、ECM-TL3
オーディオコード*2: RK-G136、RK-G139
ニッケル水素電池専用充電器: BCG34HSS
充電式ニッケル水素充電池単４形:
NH-AAA-2BKB
ニッケル水素電池専用充電器・充電池セット:
BCG34HS24K

*2 お使いになれるオーディオコード
ラインインを使って接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

	本機側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ミニプラグ（モノラル）（抵抗なし）
RK-G136	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ステレオミニプラグ（抵抗なし）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間*3*4
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

SHQモード	約22時間15分
HQモード	約33時間20分
SPモード	約89時間
LPモード	約534時間25分

*3 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは下記の乾電池の持続時間をご確認ください。
*4 表記の最大録音時間は目安です。

電池の持続時間

乾電池の持続時間*1（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

	SHQモード*2	HQモード*3
録音時	約34時間	約34時間
スピーカー再生時*6	約12時間	約12時間
ヘッドホン再生時	約36時間	約36時間

	SPモード*4	LPモード*5
録音時	約39時間	約55時間
スピーカー再生時*6	約12時間	約12時間
ヘッドホン再生時	約36時間	約36時間

充電式電池の持続時間*1（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時）

	SHQモード*2	HQモード*3
録音時	約22時間	約22時間
スピーカー再生時*6	約10時間	約10時間
ヘッドホン再生時	約25時間	約25時間

	SPモード*4	LPモード*5
録音時	約27時間	約37時間
スピーカー再生時*6	約10時間	約10時間
ヘッドホン再生時	約25時間	約25時間

*1 電子情報技術産業協会（JEITA）規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。
*2 SHQモード：モノラル超高音質モード
*3 HQモード：モノラル高音質モード
*4 SPモード：モノラル標準モード
*5 LPモード：モノラル長時間モード
*6 音量レベルを27に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、ICレコーダー・カスタマーサポートページ（表面）をご覧いただくか、ソニーの相談窓口（表面）までお問い合わせください。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは

電源が切れない。
- 停止中にホールド・電源スイッチを「切」の方向に動かす。

液晶表示が消えない。表示が二重に見える。
- 保護シートが付いていませんか。
→ フィルムを剥がしてお使いください。

電源が入らない。
- 電池の⊕と⊖の向きが正しくない。
- 電池が消耗している。

スピーカーから音が出ない。
- 音量が絞られている。
- ヘッドホンをつないでいる。

ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。
- 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。
→ いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込む。

録音が途中で止まる。
- VORが作動している。VORを使用しないときは、メニューで「OFF」にする。

雑音が入る。
- 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。
- 外部マイクで録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。
→ プラグをきれいにクリーニングする。
- ヘッドホンで聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れている。
→ プラグをきれいにクリーニングする。

ファイルを分割できない。
- メモリー残量が不足していると、ファイル分割はできません。
- 1フォルダ内のファイル数が99件を超えると、ファイル分割はできません。不要なファイルを消去してください。
- ファイルのはじめから0.5秒までと終わりから0.5秒までの間ではファイル分割はできません。
- 頻繁にファイル分割をすると、ファイル分割ができなくなることがあります。
- メニューで「LOCK」（保護）が「ON」になっているとファイルは分割できません。

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。
- DPC（速度調整）が「ON」になっているため、調整した再生スピードで再生されている。
→ DPC（速度調整）を「OFF」にすると、通常の速度で再生されます。または、再生スピードを調整してください。

時計表示が「--:--」になる。
- 時計を合わせていない。

録音日時表示が「--年 --月 --日」または「--:--」になる。
- 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。

時計がリセットされる。
- 電池をはずした状態で約1分以上たつと時計がリセットされます。電池を交換するときは、新しい電池を用意してから交換してください。

メニュー表示の項目が足りない。
- 再生中または録音中は、表示されないメニューがあります。

消去できない。
- メニューで「LOCK」（保護）が「ON」になっているとファイルは消去できません。
→「LOCK」を「OFF」に設定して、保護設定を解除してください。

録音レベルが不安定。（音楽などを録音したとき）
- 音楽などの音源を録音したいときは、外部マイクを使用し、雑音が入らないようにセッティングして録音してください。
また、SHQモードまたはHQモードをお使いください。

他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。
- 他の機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

電池の持続時間が短い。
- 乾電池の持続時間は、音量レベルを27で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。

変更したメニュー設定が反映されていない。
- 設定変更直後に電池が抜かれた場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。

起動に時間がかかる。
- ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。

エラー表示一覧

LO BATT（電池マークが同時に点滅）
- 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。

FULL（録音 が同時に点滅）
- 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。

FULL（ファイル番号が同時に点滅）
- ファイルの合計が最大ファイル数（99件）を超えたため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。

FULL（移動先フォルダアイコンが同時に点滅）
- 移動先フォルダ内のファイルの合計が最大ファイル数（99件）のため、ファイルを移動できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。

NO DATA
- 1件もファイルが録音されていません。
ファイル保護、消去、移動などの操作ができません。

LOCK（🔒が同時に点滅）
- 選んだファイルが、保護されているため、消去、分割、移動などができません。メニューで「LOCK」（保護）の設定を「OFF」にすると操作できるようになります。

ERR ACCESS、ERR 01 ～ 06
- 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口（表面）までご連絡ください。

HOLD
- ホールド機能が設定されているため、操作できません。ホールド機能を解除して、操作できるようにするには、ホールド・電源スイッチを「ホールド」の矢印と反対の方向にずらします。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間まで録音できない。
- SHQモード、HQモード、SPモード、LPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSHQモードとLPモードの最大録音時間の間になります。
- 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口（表面）、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に換えて製品交換をする場合がありますので、ご了承ください。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

商標について

本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。